

地域のみなさんと医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

夏号  
Summer No.

# たての日和 No.03

医療法人社団 順幸会  
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI

阿蘇立野病院

# 報恩感謝

THANKS TO EVERYONE!



## 各部署よりのご連絡掲示板

防災訓練  
emergency training



### 防災訓練を実施。 報恩感謝を大切に、 有事の準備を進める。

【医療技術局長 田中幸成】

平成30年5月29日PM13時、これからの大雨、台風による土砂災害を想定し、情報収集や対策本部設置、緊急時対応訓練に重点を置いた本年度第一回目の防災訓練を行いました。熊本地震から復興の中で、報恩感謝の思いを大切に、しっかりと有事に対する準備を進めていきたいと思います。

### 病院機能

- 一般外来 ● 救急外来
- 人工透析 17床 ● 通所リハビリ
- 入院 32床(地域包括24床、療養8床)
- 院内リハビリ(PT・OT・ST)
- 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ
- 健診センター ● 自由診療

### 入院受け入れ可能項目

- レスビレーター管理(要相談) ● 気管切開
- 経管栄養(鼻腔栄養・胃ろう栄養)
- がん疼痛麻薬使用 ● 終末期看取り
- リハビリ PT・OT・ST がんリハ
- 認知症(要相談) ● 透析 ● 転院継続療養
- 当日入院・土日転院受け入れ相談・Key不在の方受け入れ

### 外来診療予定表

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	上村晋一	上村晋一 生野俊治	生野俊治	生野俊治	上村晋一 生野俊治	上村晋一
	午後	上村晋一	上村晋一 末藤美星 (不定期)	生野俊治 (不定期)	-	中島昌道	久留米大外科
代謝内科 *期間限定非常勤	午前	熊大代謝内科 (第2週or第3週)	-	熊大代謝内科 (第2週・第4週)	熊大代謝内科 (第1週)	-	-
	午後	熊大代謝内科 (第2週or第3週)	-	熊大代謝内科 (第2週・第4週)	熊大代謝内科 (第1週)	-	-
外科	午前	上村晋一 米満候宏	上村晋一	-	-	上村晋一	上村晋一
	午後	上村晋一 米満候宏	上村晋一	-	-	中島昌道	久留米大外科
整形外科	午前	松原暢三	-	-	-	松原暢三	-
	午後	松原暢三	-	-	松原暢三	松原暢三	-
泌尿器科	午前	-	-	-	中原王寿	-	-
	午後	-	-	中原王寿	-	-	-
神経内科	10:00-12:00	-	渡邊聖樹 (第4週)	-	-	-	-
健診センター	午前	上村晋一 米満候宏	大熊利忠	生野俊治	生野俊治	大熊利忠	-

【受付時間】午前 8:30 ~ 11:30 午後 1:30 ~ 5:00 【診療時間】午前 9:00 ~ 12:30 午後 3:00 ~ 5:30



各部署からのごあいさつ

新しい検査に  
取り組む。

【医療技術局長 放射線技師 田中幸成】

放射線課では、個性あるスタッフ3人で、オープン型MRI、マルチスライスCT、骨密度測定装置等の機器を使って、CTコノグラフィー（大腸CT検査）等の新しい検査にも積極的に取り組みながら、利用していただける皆さんに安心して検査を受けていただけるよう頑張っております。



放射線

Radiation

検査

Inspection



正確・迅速を  
心がけた医療を。

【臨床検査技師 佐藤由美子】

臨床検査課は、震災で多くの検査機能が失われましたが多くの方のお力添えもあり、ほぼ以前の状態へと戻り業務を行っています。地元である南阿蘇の為に再び診療のお手伝いができる事に感謝し、深まった絆で患者さんのお役に立てるよう正確・迅速な検査結果報告を目指しています。



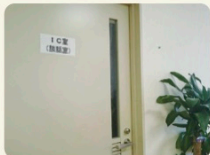
地域連携

Regional collaboration

各種ご相談を  
お受けしてます。

【MSW 甲斐千里】

当室では、医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族等から入院や退院、経済的、社会的、心理的な悩み、患者さんの人生の最終段階における医療・ケアの決定など各種ご相談をお受けし、解決のお手伝いをしています。私たちの活動が、当院や当地の復興の一助になれば幸いです。



報恩感謝

感謝を伝えたい

去る5月の大型連休を利用して、東日本大震災で甚大な津波被害と原子力発電所災害の影響の残る東北地方を訪問しました。理由は、(一)は熊本地震で被災した上村めぐもり診療所と立野病院に二回も足を運んで頂いた福島県南相馬市の絆診療所に行くため。そしてスタッフ不足にも拘らず、当院に看護師を派遣して頂いた福島県双葉郡の医療法人社団養高会高野病院を訪問するためでした。道中の詳細は別に記そうと思っておりますが、とにかく未だ復興がままならない原発災害の影響の残るそれぞれの医療機関からめぐもりのあるご支援を惜しみなく頂きました。感謝を伝えたいがために勝手ながらおしかけたというわけです。印象的なことがありました。仙台空港に着き、仙台市海岸公園の避難の丘近くの集落に案内されました。この集落はもともと1000有余の家屋があったらしいのですが、7年が経過し復旧して戻ってきたのは11件しかないとのことでした。その集落に木造一軒家で庭にある綺麗な花壇で、水を与えている穏やかな笑顔の老婦人の言われた一言が実に爽やかでした。「いつでも以前の皆さんに戻ってこられるように頑張って花を植えているのよ。熊本も頑張るよ。」



医療法人社団順幸会  
阿蘇立野病院 理事長

上村 晋一

仙台東身といえは、平昌五輪の金メダリスト羽生結弦選手です。彼は、とにかく捨てて捨てて、捨てる作業をしたオリソンビックでした。」と述べています。好きだったゲームだけでなく世界初の四回転ループという大技をも捨てて臨んだと聞きました。もしかすると多くを失い、捨てざるを得なかった東日本大震災を経験したからこそ、この勇氣ある爽やかなる決断ができたのではないのでしょうか。私たちも熊本地震で多くの物事を捨てざるを得ない経験をしました。そして恨みや文句などの消極的対応でなく、このくらい我慢できるのか試してみよう。」と積極的に対応する方が希望に繋がることも学びました。さらに、今回の旅を通じて被災地間の交流から得られる学びには限りが無いと感じました。職員全員で東北を訪ねなければならぬと切に感じています。

報恩感謝を忘れない



法人本部長  
上村由久

やはり東北の復興はまだ先だな、と言うのが初めの感想であった。何となく綺麗な建物がそこかしこに建ててはいるが、何か活気がない。現地の人々から聞いた言葉も意外なものであった。「あの人は、たくさんお金をもらって動こうともしない。」「医療費すら未だにタダである。」と言ったものだ。救済の為の善意であるはずの補償金が、現地の人々を分断していた。そしてタダ慣れた人達のくれくれ病を目の当たりにして、情けないの思いであろう。同じ被災者として、報恩感謝を忘れないよう肝に銘じた旅であった。

お会いしたご縁に感謝



法人本部  
日隈耕平

当院復興のために応援をいただいた皆さまへの感謝は尽きませんが、今回、看護師派遣や当地視察にお越しいただいた福島県の高野病院と絆診療所への御礼参りのため、当法人の理事長・本部長と東北へ出張致しました。短期間(4/30~5/3)でしたが、福島復興支援室・小早川先生の引率のもと、福島県双葉郡や宮城県沿岸など巡回させていただきました。東日本大震災から7年が経った現在も、地震や津波の影響は大きく、原発という人災が続いていることを痛感しました。出張先でお会いした人々の志やご縁に感謝し、私も気持ち新たに頑張ります。

